

平成25年1月9日

福島県立医科大学附属病院における年末年始の 救急患者取扱状況について

年末年始に本院の救命救急センター外来で診療を受けられた患者さんの状況については以下のとおりです。

【救命救急センター外来を利用された患者数】

12月29日から1月3日に本院の救命救急センター外来を利用された患者さんは合計で475人、1日平均79.2人となっています。うち救急車（ヘリを含む）で搬送された患者さんは38人、1日平均で6.3人でした。これは前年の同期間と比べて患者さんの数は9人（1日平均1.5人）、救急車搬送人数では6人の（1日平均1人）減でした。

なお、年末年始期間中のドクターヘリの出動件数は4件（全て現場出動）で、このうち本院への搬送件数は1件でした（前年同期の出動件数は10件。うち本院への搬送件数は4件）。

○救命救急センター外来利用患者数

	12月29日	12月30日	12月31日	1月1日	1月2日	1月3日	合計	1日平均
患者数	76	74	95	69	83	78	475	79.2
うち救急車搬送	6	5	11	5	7	4	38	6.3

【年末年始の救命救急センター外来の運営体制】

救命救急センターの医師の勤務体制は、日勤帯は救急科医師・政策医療等支援医・研修医・輪番制医師各1名の計4名、夜勤帯は救急科医師・政策医療等支援医・輪番制医師各1名の計3名としておりました。また、各診療科においても重症患者に対し専門医が駆けつけることができるようバックアップ体制をとりました。看護体制は日勤4名、準夜勤4名、深夜勤3名を配置し来院患者に対応しました。

処置、点滴注射の実施にあたり救急センターの場所だけでは対応不可能な場合には、一時的に病棟のベッド等を借りて対応しました。検査、薬についても、24時間体制で放射線技師、検査技師、薬剤師が対応しました。

（担当 病院経営課 病院企画係）

【参考】

・診療科別の受診状況

診療科別の患者数は救急科が93人で最も多く、次いで眼科が45人、耳鼻咽喉科・頭頸部外科36人の順となっています。

・地域別の来院状況（実数）

県北地域が341人、次いで相双地域が28人（うち避難先等からの来院23人）、県中地域が13人の順となっています。

・ドクターヘリの要請消防本部別出動数

福島、郡山、須賀川、双葉が各1件となっています。

・過去の年末年始の状況

○平成21年度

	12月29日	12月30日	12月31日	1月1日	1月2日	1月3日	合計	1日平均
患者数	65	93	92	70	66	69	455	75.8
うち救急車搬送	7	9	0	5	3	4	28	4.7

	年間		
	1日平均	診療日平均	休診日平均
患者数	39.5	34.7	49.1
うち救急車搬送	4.1	4.0	4.2

○平成22年度

	12月29日	12月30日	12月31日	1月1日	1月2日	1月3日	合計	1日平均
患者数	63	94	113	77	89	123	559	93.2
うち救急車搬送	4	7	5	7	4	13	40	6.7

	年間		
	1日平均	診療日平均	休診日平均
患者数	34.5	21.9	59.5
うち救急車搬送	4.8	4.9	4.6

○平成23年度

	12月29日	12月30日	12月31日	1月1日	1月2日	1月3日	合計	1日平均
患者数	64	96	74	74	84	92	484	80.7
うち救急車搬送	9	11	8	8	4	4	44	7.3

	年間		
	1日平均	診療日平均	休診日平均
患者数	30.0	18.3	52.8
うち救急車搬送	4.6	4.5	4.9